

平成29年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	歴史的風土を生かした広沢池保全事業		
予 算 額	4,110千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	投資枠
担 当 課	建設企画部 建設企画課(222-3551)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】 広沢池は、別名遍照寺池とも呼ばれ、平成22年3月に農林水産省のため池百選に選定されるなど、歴史で彩られ、四季それぞれの趣きが感じられる嵯峨野の名所の一つとして、多くの市民や観光客が訪れる。 昔から変わらぬ風情を残す広沢池周辺の魅力を楽しんでもらうため、広沢池の維持保全を図る。</p> <p>【事業概要】 広沢池周辺は、嵯峨野歴史的風土特別保存地区であり、広沢池と周辺環境が調和した景観が維持されてきている。平成28年度は、広沢池の現状を把握するための基礎調査を実施している。 平成29年度は、現在の景観を将来にわたって維持するために、地域と共に広沢池を保全するための計画を策定する。(平成29年度末策定予定)</p>			
<p>【参 考 (他都市の状況・事業効果など)】 平成28年度予算額 4,000千円</p>			

平成29年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	安心・安全な東大路歩行空間創出事業		
予算額	130,860千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	投資枠
担当課	建設企画部 建設企画課(222-3551)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】 京都市では、東大路通の東山三条～東福寺間において、現在の道路幅員の中で、歩行者が安心・安全、そして快適に通行することができる空間の確保を最優先に、車線数の減少等も含めた道路空間の再構成や、歩行環境の改善に向けた検討を進めてきた。 これまでの調査を踏まえた交通解析の結果、現状の交通状況のまま東大路通を車線減少した場合、東大路通のみならず周辺道路への交通影響が大きいことが判明しており、車線減少を伴う道路空間の再構成（2車線化）については長期的に検討することとしている。 一方で、多くの市民・来訪者が訪れる東大路通及びその周辺が抱えている課題は喫緊の課題であり、歩道勾配の急な箇所や良好なバス待ち環境が整っていない等の個別の課題に対し、歩行環境の改善を行うことにより、安心・安全な歩行空間の創出に取り組む必要がある。</p>			
<p>【事業概要】 平成27年度、28年度は、東大路通の歩道勾配改善やバス待ち環境改善に向けた検討を行った。 平成29年度は、歩行者にとって安心・安全な歩行空間を確保するために、歩道勾配改善やバス待ち環境改善に係る設計及び工事等を行う。</p>			
<p>【参考（他都市の状況・事業効果など）】</p>			

平成29年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	京都高速道路の移管に伴う関連道路の検討等		
予算額	30,000千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	投資枠
担当課	建設企画部 建設企画課(222-3551)		
<p>〔事業実施に至る経過・背景など〕 京都高速道路については、平成23年3月に新十条通及び油小路線が全線開通し、周辺道路の混雑緩和をはじめ、京都の交通状況は大きく改善した。しかしながら、京都高速未着工の3路線（堀川線、西大路線及び久世橋線）については、都市計画決定された平成5年当時から社会経済情勢が変化していることから、有識者による「京都市京都高速道路検証専門委員会」の議論を踏まえ見直すこととした。また、国に対しては、</p> <p>①油小路線のネクスコ西日本への移管、対距離料金制の導入 ②新十条通の京都市移管による無料化 ③京都高速道路と名神高速道路との接続を有料道路事業者で新設整備 ④堀川通（国道1号）の交通円滑化に向け、横断歩道や車線・交差点の改良、新たなバイパストンネルの可能性などの調査を平成29年度から国において実施</p> <p>の4点について、要望を行った結果、平成28年12月に、国土交通省の「近畿圏の新たな高速道路料金に関する具体方針（案）」において①及び②が盛り込まれた。また、高速道路会社等が示した「近畿圏の新たな高速道路料金の具体案」の中で、「油小路線・新十条通の移管時期を、平成31年4月」としたことから、今後、国、京都府とも連携し、移管に向けた取組や京都の交通課題を解決するための取組を進めていく必要がある。</p> <p>〔事業概要〕 平成29年度は、以下の事業を実施する。 ・新十条通の無料化等に合わせた、交通円滑化のための関連道路交差点改良等についての検討 ・「将来道路ネットワーク研究会」における、京都市の将来を見据えた道路ネットワークの在り方等についての検討 ・京都高速未着工3路線の都市計画変更に向けた取組</p> <p>〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕</p>			

平成29年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	地域において日常的に利用される道路の維持補修の充実		
予算額	80,000千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担当課	土木管理部 土木管理課 (222-3568)		
<p>〔事業実施に至る経過・背景など〕</p> <p>公共土木施設の維持管理について、市民の皆様が道路や公園等の損傷箇所を投稿できる「みっけ隊」アプリを平成28年5月から運用しており、「早く対応してくれて安心」、「対応状況が見える化されていて進捗が分かりやすい」など、高い評価を得ている。市民の皆様が公共土木施設を身近に感じていただくきっかけの一つとして、有効なツールとなっている。</p> <p>アプリの投稿以外にも、直接の御連絡や自治会を通じてなど、様々な形で市民の皆様から寄せられる、日常的に利用する身近な道路の補修要望のうち、小規模なものについては、土木事務所職員による補修等により迅速に対応しているところであるが、規模が大きく、業者発注が必要なものについても取組を充実させる必要がある。</p> <p>〔事業概要〕</p> <p>地域において日常的に利用される道路について、土木事務所職員による補修等に加え、土木事務所職員による補修等が困難な規模の補修についても市民ニーズに十分に応えるため、工事発注を行うための予算を充実し、適切な道路維持管理を行う。</p>			
<p>〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕</p>			

平成29年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	いのちを守る都市基盤防災・減災対策プロジェクト 災害防除(緊急輸送道路等に面する斜面の防災対策)		
予算額	480,125千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠 投資枠
担当課	土木管理部 土木管理課 (222-3568)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など] 京都市は、東日本大震災や近年多発する局地的集中豪雨等での被害を踏まえ、公共土木施設の防災機能を強化するため、「いのちを守る都市基盤防災・減災対策プロジェクト」として、緊急輸送道路等に面する斜面の防災対策に取り組んでいる。 これまでに、対策を必要とする560箇所のうち、149箇所について対策を実施している。</p> <p>[事業概要] 平成29年度は、災害発生時の緊急輸送を円滑且つ確実に行うため、道路のり面維持保全計画に基づき、緊急輸送道路等に面する斜面において、防災カルテ(※)を活用して、落石、斜面崩壊等の災害を未然に防止する対策工事を効率的、効果的に進める。</p> <p>平成29年度実施予定箇所 23箇所</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 一般国道162号(工事3箇所, 測量設計3箇所, 用地補償3箇所) 一般国道367号(工事1箇所) 主要府道京都日吉美山線(用地補償2箇所) 主要府道下鴨大津線(測量設計1箇所) 主要府道京都広河原美山線(工事1箇所, 測量設計1箇所) 主要府道西陣杉坂線(測量設計2箇所) 一般府道醍醐大津線(工事1箇所, 測量設計1箇所) 一般府道柚原向日線(工事2箇所) 一般府道宮ノ辻神吉線(測量設計1箇所) 一般市道渋谷蹴上線(測量設計1箇所) </div> <p>※ 防災カルテ 山間部における道路防災対策として、平成8～9年度に災害発生の可能性のある箇所の調査点検を行い、地形や地質、危険度を評価した「防災カルテ」を作成し、平成24、25年度に現地の状況の変化に対応した見直しを行った。(対象：国道162号, 国道367号, 国道477号など, 合計65路線)</p>			
<p>[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]</p>			

平成29年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	いのちを守る都市基盤防災・減災対策プロジェクト 「いのちを守る 橋りょう健全化プログラム」の推進 (橋りょうの耐震補強・老朽化修繕)		
予 算 額	2,695,116 千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠 投資枠
担 当 課	土木管理部 橋りょう健全推進課 (222-3561) 道路建設部 道路建設課 (222-3577)		
<p>〔事業実施に至る経過・背景など〕</p> <p>東日本大震災の被災を踏まえ、災害時における避難ルート及び救急車両等の通行確保に向けた橋りょうの耐震補強のスピードアップは喫緊の課題であり、京都市は、「いのちを守る 橋りょう健全化プログラム」に基づき、耐震補強と老朽化修繕を効率的・効果的に推進している。</p> <p>平成23年12月に策定した「第1期プログラム」において、平成24～28年度の5年間に「耐震補強17橋、老朽化修繕34橋の対策を完了させる」という目標に対して、平成28年12月末時点で「耐震補強14橋、老朽化修繕28橋」の対策が完了している。</p> <p>平成29年度からは、新たに「第2期プログラム」の取組を開始することとしており、平成29～33年度の5年間に「耐震補強17橋、老朽化修繕22橋の対策を完了させる」ことを目標としている。</p> <p>〔事業概要〕</p> <p>平成29年度においても、災害時における都市機能の確保を図るとともに、平常時においても市民生活を守るため、橋りょうの重要性及び緊急性を考慮して重点化を図りながら、耐震補強・老朽化修繕を実施する。</p> <p>実施箇所 耐震補強 14橋 (北山大橋, 松尾橋など) 老朽化修繕 13橋 (荒神橋, 古門前橋など)</p>			
〔参 考 (他都市の状況・事業効果など) 〕			

平成29年度 実施箇所

(ア) 耐震補強

	区	橋りょう名	主な所在地	路線名	実施内容
1	東山区・南区	九条跨線橋	東山区本町14丁目	四ノ宮四ツ塚線	委託
2	東山区	今熊野橋	東山区今熊野宝蔵町	四ノ宮四ツ塚線	委託
3	北区	御菌橋	北区上賀茂御菌口町	上賀茂緯440号線	委託・設計・工事
4	北区・左京区	北山大橋	北区小山東元町	北山通(1)	工事
5	上京区・左京区	丸太町橋	上京区俵屋町	鹿ヶ谷嵐山線	設計
6	左京区	河合橋	左京区下鴨宮河町	柳通	委託
7	左京区	松ヶ崎橋	左京区松ヶ崎小脇町	上賀茂山端線	工事
8	右京区・西京区	松尾橋	右京区梅津大縄場町	宇多野嵐山山田線	工事
9	西京区	大枝塚原橋	西京区大枝塚原町	大枝38号線	工事
10	伏見区	宮前橋	伏見区淀大下津町	奥海印寺納所線	委託・工事
11	伏見区	京橋	伏見区京橋町	伏見港京都停車場線	工事
12	伏見区	淀高架橋	伏見区淀木津町	宇治淀線	委託
13	山科区	大石道跨線橋	山科区上花山久保町	大石道	委託
14	南区	西国街道高架橋	南区久世中久世町1丁目	上久世石見上里線	委託

(イ) 老朽化修繕

	区	橋りょう名	主な所在地	路線名	実施内容
1	上京区・左京区	賀茂大橋	上京区梶井町	銀閣寺宇多野線	工事
2	上京区・左京区	荒神橋	上京区亀屋町	春日緯6号線	工事
3	左京区	自性寺谷橋	左京区久多下の町	久多広河原線	設計
4	左京区	紅葉橋	左京区花脊大布施町	国道477号	設計
5	左京区	膳部北橋	左京区下鴨本町	下鴨緯24号線	工事
6	東山区	新門前橋	東山区中之町	新門前通	工事
7	東山区	古門前橋	東山区石橋町	弥栄経3号線	工事
8	山科区	中川大橋	山科区小野鐘付田町	小野山科停車場線	工事
9	下京区	四条高瀬川橋	下京区真町	嵐山祇園線	工事
10	西京区	川原橋	西京区大原野石見町	大山崎大枝線	工事
11	伏見区	稻荷橋	伏見区深草一ノ坪町	稻荷停車場線	設計
12	伏見区	常盤橋	伏見区堀詰町	竹中町通	工事
13	左京区	岩倉里56号1号橋	左・岩倉村松町	岩倉里56号	設計
		橋りょう点検	市内一円		委託
		一般補修	市内一円		工事他

平成29年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	いのちを守る都市基盤防災・減災対策プロジェクト 「普通河川整備プログラム」に基づく普通河川緊急 対策事業		
予 算 額	333,000千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	土木管理部 河川整備課 (222-3591)		
<p>〔事業実施に至る経過・背景など〕</p> <p>京都市が管理する普通河川は、河川の抱える流域が狭く、降った雨が短時間で河川に流れ込む傾向にあるため、特に、短時間の局地的な集中豪雨（ゲリラ豪雨）によって増水する危険性があり、河川改修等による浸水対策の実施は喫緊の課題となっている。</p> <p>しかしながら、河川改修は、多額の費用と時間を要し、上流部の改修の影響で下流が氾濫することがないように下流側から順次整備を進める必要があるため、事業期間が長期に及ぶ。</p> <p>このような中、平成24年8月に宇治市等で発生した浸水被害を受け、浚渫、護岸補修等の浸水予防緊急対策を実施するとともに、過去30年間に浸水被害が発生した河川のうち、まだ本格的な対策に着手できていない8つの河川を対象に治水安全度調査を行い、河川ごとの特性を踏まえた整備方針を定めた、「普通河川整備プログラム」を平成25年10月に策定した。</p> <p>なお、対象河川のうち宇多川支川、荒木川及び谷田川については平成26年度に対策が完了している。</p> <p>〔事業概要〕</p> <p>本事業は、「普通河川整備プログラム」に基づき、治水安全度の向上を図る工事や、河川改修等に向けた設計等を行う。</p> <p>(平成29年度実施内容)</p> <p>護岸改修工事等・・・竹田川、泉川 設計等業務委託・・・千代原川</p>			
<p>〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕</p>			

平成29年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	いのちを守る都市基盤防災・減災対策プロジェクト 「河川維持保全基本計画」に基づく普通河川点検業務		
予算額	18,000千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担当課	土木管理部 河川整備課 (222-3591)		
<p>〔事業実施に至る経過・背景など〕 近年多発している局地的集中豪雨や台風の大雨などによる浸水被害を最小限にとどめるためには、河川が保有する治水能力の確保に資する浚渫・除草等の日常的な維持管理が重要である。 なお、初年度の平成28年度は、人・財産が集中する都市部を流れる河川の点検を実施している。</p> <p>〔事業概要〕 より効率的かつ効果的に河川の維持管理を行うため、平成28年3月に策定した「京都市河川維持保全基本計画」に基づき、本市が管理する322河川の点検を行い、点検が完了した河川については、その結果を踏まえて、順次、<u>河川維持保全実施計画</u>を策定し、適切な維持管理を行っていく。</p> <p>(今後のスケジュール)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>平成29年度</u> 下流部に住宅等が連担している場合が多い都市周辺部を流れる48河川(予定)の点検及び河川維持保全実施計画の策定を実施する。 ○ <u>平成30年度以降</u> 引き続き、未実施の山間部等を流れる河川について、点検及び河川維持保全実施計画の策定を早期に実施する。 			
<p>〔参 考 (他都市の状況・事業効果など) 〕</p>			

平成29年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	いのちを守る都市基盤防災・減災対策プロジェクト 「排水機場長寿命化修繕計画」に基づく排水機場の 老朽化修繕・耐震改修		
予 算 額	723,500 千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	土木管理部 河川整備課(222-3591)		
<p>〔事業実施に至る経過・背景など〕 多くの河川や都市下水路の流末に位置する市南部地域は、勾配が緩やかで流末の宇治川や桂川との高低差が少なく、低湿地地帯が多いため、自然排水が困難で、大規模な降雨があった場合には、甚大な浸水被害を受けやすい。 このため、京都市では、降雨時に放流河川（本川）から逆流を防止し、内水やたん水を強制排水する排水機場や樋門を整備している。 近年、これらの排水機場等の設備の老朽化が著しく、整備更新が急務となっていることから、平成27年度に今後40年間の「排水機場長寿命化修繕計画」を策定し、計画的な整備を行い機器の長寿命化を図っている。</p> <p>〔事業概要〕 ・緊急修繕に加え、予防保全整備により、計画的に排水機場、樋門等の施設の長寿命化を図る。（ポンプ, 原動機, 除塵設備及びゲート設備等の分解整備・更新）</p> <p>（平成29年度実施内容） ・<u>12排水機場, 1樋門における計画に基づく長寿命化修繕や緊急修繕等</u> ・<u>新川排水機場, 西羽東師排水機場における耐震診断及び耐震改修概略設計</u></p> <p>（今後のスケジュール） ・引き続き計画に基づく修繕を実施するとともに、策定後5年が経過する平成32年度を目途に計画の見直しを行う。</p>			
<p>〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕</p>			

平成29年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	自転車向け保険加入の義務化		
予算額	9,300千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担当課	自転車政策推進室(222-3565)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】 昨今の自転車事故を巡る状況や高額賠償事例の発生等を踏まえ、万一、自転車事故が起こった時にも、被害者の救済及び加害者の経済的負担の軽減を図るため、市内における自転車利用者、業務で自転車を利用させる事業者、及びレンタサイクル事業者を対象に、十分な周知期間を設けたうえで、自転車向け保険加入の義務化を行うこととしている。</p>			
<p>【事業概要】 保険加入の義務化について、市民しんぶんや広告媒体を通じて周知啓発を行う。 また、保険に関する問合せ窓口として、平成29年5月（予定）に専用のコールセンターを設置する。コールセンターでは、市民等からの様々な問合せに対応するとともに、自転車向け保険への加入を促す。</p>			
<p>【参考（他都市の状況・事業効果など）】 平成27年に兵庫県、平成28年に大阪府及び滋賀県が義務化を行っており、政令市では京都市が初となる。但し、同時期に名古屋市も施行する予定。</p>			

平成29年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	向島中央公園のリフレッシュ事業		
予算額	37,200千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担当課	みどり政策推進室(741-8600)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】 本市では、まちびらきから約40年が経過した、向島ニュータウンの活性化に取り組んでいる。 向島中央公園は、向島ニュータウンの中心に位置する約24,000㎡の近隣公園であり、園内には約3,000本の多種多様な樹木が育ち、公園中央を東西に貫くせせらぎが流れている等、緑や水といった自然に身近に触れあえる空間として市民に親しまれている。 しかし、現在、整備時に植栽された樹木が成長し、過密で鬱蒼とした状況となっており、公園の安心安全な利用が阻害されているため樹木伐採等を行い公園のリフレッシュを図る必要がある。</p> <p>【事業概要】 平成29年度から平成30年度にかけて、樹木伐採後、必要に応じて新たに植樹を行い、根上部分の園路整備を行う。 平成29年度は樹木の伐採と新植を行う。</p>			
<p>【参考（他都市の状況・事業効果など）】</p>			

平成29年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	洛西ニュータウンの魅力ある公園整備		
予算額	43,500千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担当課	みどり政策推進室(741-8600)		
<p>〔事業実施に至る経過・背景など〕 本市では、まちびらきから約40年が経過した、洛西ニュータウンの活性化に取り組んでいる。そこで洛西ニュータウン全域に散在する公園・緑地の施設補修や更新を行うとともに、危険木等の除却を行い、安心安全で魅力ある公園・緑地となるよう整備を実施する。 また、この整備を他の活性化策の推進と同時にスタートさせることにより、相乗効果を生み出し、洛西ニュータウンの更なる魅力向上を図っていく。</p> <p>〔事業概要〕 平成29年度から平成33年度にかけて施設整備や危険木、支障木の伐採を順次実施する。 平成29年度は、大蛇ヶ池公園へバリアフリー遊具や健康遊具の設置、手摺の更新等の施設整備及び小畑川中央公園等の危険木の伐採を行う。</p> <p>〔参考（他都市の状況・事業効果など）〕</p>			

平成29年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	健康長寿のための公園づくり		
予算額	3,900千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担当課	みどり政策推進室(741-8600)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など] 京都市では、市民一人一人が主体的に健康づくりに取り組む社会の構築を目指して、平成28年5月に「健康長寿のまち・京都市民会議」を発足している。 また、建設局においては、少子高齢化の進行に伴い、新設公園や再整備公園において健康遊具の新規整備を進めている。</p> <p>[事業概要] 既存公園に利用者のニーズに合わせた健康遊具（1公園につき背のぼしベンチ、腹筋ベンチ、ぶらさがり器の3種類）を設置する。 平成29年度は、北区、左京区、南区、山科区内の4公園に設置予定。</p>			
<p>[参考（他都市の状況・事業効果など）]</p>			

平成29年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	地域住民主体で進める街路樹等の維持管理		
予算額	3,000千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠 投資枠
担当課	みどり政策推進室(741-8600)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】 これまでの街路樹維持管理は、行政が主体となり、地域住民には落葉清掃や除草など、比較的簡易な作業に協力いただいていた。 今後は、街路樹をより美しい状態で管理するため、地域住民に、街路樹を含む道路空間に愛着をもっていただき、より主体的に街路樹管理に携わっていただくことが重要である。地域住民に今まで以上に愛着を持っていただくためには、街路樹の整備を検討する段階から、地域と一体となって樹種の選定や植栽間隔などを考え、住民が管理しやすい状態に整備する必要がある。</p> <p>【事業概要】 住民主体で支障枝の伐採や低木の刈込等の維持管理を行うことができる道路空間とするため、平成29年度は、モデルケースとして以下の2路線で事業を実施する。 今まで以上に、地元との協働による街路樹の管理を進めるため、街路樹の整備方針等について、住民と協働で検討し整備を進める。</p> <p>○白川疏水通（東鞍馬口通～今出川通） 老朽化が進み大木化した街路樹の伐採・撤去</p> <p>○東堀川通（中立売通～丸太町通） 街路樹（低木）の整備 ※「花と緑あふれるまちづくり～緑視環境向上プロジェクト～」の「桜景観創造プロジェクト」の一環として実施。</p>			
<p>【参 考（他都市の状況・事業効果など）】</p>			

平成29年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	東山自然緑地における花の名所づくり事業		
予算額	75,124千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	投資枠
担当課	みどり政策推進室（741-8600）		
<p>[事業実施に至る経過・背景など] 東山自然緑地は山科区に位置する琵琶湖疏水沿いに整備された緑道で、昭和53年の全面開園以来、市民の皆様をはじめ多くの来訪者に利用されてきた。 一方、開園から約40年が経過し、トイレ、照明灯、園路やベンチなどの施設が老朽化しており、再整備が必要な状況となっている。</p> <p>[事業概要] 平成28年度から平成32年度までの5年間で、サクラをはじめ様々な種類の花木を植栽することにより、『四季の花木を楽しめる京都の新しい花の名所』に再整備していく。 平成28年度は、再整備に向けた市民意見の募集を実施。また、市民意見募集以前より、地域の方々からの要望が強い便所の建替を優先して実施するとともに、東側から再整備を開始した。（平成28年度予算額 170,100千円）</p> <p><u>平成29年度は、市民意見募集の結果を踏まえ、再整備を順次実施していく。</u> <u>(平成29年度の主な再整備内容)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○園路広場…園路舗装 ○管理施設…照明灯, フェンス ○休養施設…野外卓, ベンチ ○遊戯施設…健康遊具 ○修景施設…高木植栽, 低木植栽, 支障木処理 			
[参 考（他都市の状況・事業効果など）]			

平成29年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	梅小路公園魅力向上		
予算額	12,435千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	投資枠
担当課	みどり政策推進室(741-8600)		
<p>〔事業実施に至る経過・背景など〕 京都水族館及び鉄道博物館開設後、梅小路公園の年間利用者が増加するなど、多くの方が同公園を訪れている。 平成31年春のJR新駅開業等を前に、梅小路公園を訪れる市民及び観光客の方が増加することが予想されており、梅小路公園の魅力と来園者の利便性を更に高めることが求められている。</p> <p>〔事業概要〕 平成28年度は、公衆トイレの洋式化及び石材園路の改修等を行った。(平成28年度予算額 60,000千円)</p> <p>平成29年度は、梅小路公園の魅力と来園者の利便性を更に高めるため、芝生広場の避暑対策として休養施設(四阿(寄棟 柱心3m×3m 腰掛付)を3基設置する。</p>			
<p>〔参考(他都市の状況・事業効果など)〕</p>			

平成29年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	名勝円山公園再整備		
予算額	100,670千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	投資枠
担当課	みどり政策推進室（741-8600）		
<p>〔事業実施に至る経過・背景など〕 京都市の貴重な文化遺産である名勝円山公園は、明治19年に開園してから平成28年で130年を迎えた市内で最も古い公園であり、施設の老朽化が進み、名勝地及び観光地として様々な課題が生じている。 市民はもとより、平成32年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されることに伴い、更なる増加が予想される観光客に、より一層快適に過ごしていただける公園とするため、名勝円山公園保存管理計画に基づき、平成28年度から再整備（修復）を実施している。</p> <p>〔事業概要〕 平成29年度は、平成28年度に引き続き、遺構調査及び測量設計を実施するとともに、文化財的な価値が高い「流れ」の底や石組等の毀損箇所の補修及び桜の樹勢回復、公園施設の設計等を実施する。 ※「流れ」…公園内を流れる小川</p> <p><u>（今後のスケジュール）</u> 圓山山麓からの眺望復活や庭園の修復及び来園者が利用するための公園施設（トイレやサイン等）は平成31年度までに整備し、これら以外（園路整備、一部の樹木伐採等）は、平成32年度以降に順次整備を行う予定である。</p>			
<p>〔参考（他都市の状況・事業効果など）〕 平成28年度予算額 55,100千円（遺構調査、写真測量及び基本計画の策定等）</p>			

平成29年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	花と緑あふれるまちづくり～緑視環境向上プロジェクト～		
予算額	388,646千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	投資枠
担当課	みどり政策推進室(741-8600)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など] 京都市では、平成22年3月に策定した「京都市緑の基本計画」を推進するため、「緑視環境の向上」を重点テーマに、様々な事業に取り組んでいる。</p> <p>[事業概要] ○紅葉景観創造事業 (平成29年度予算額 54,000千円) 十条通において、スズカケノキを紅葉街路樹に植え替える。</p> <p>○街路樹整備事業～花の道づくり～ (平成29年度予算額 138,100千円) 東洞院通, 外環状線, 向島経89号線, 境谷中通, 向日町上鳥羽線において、花木の植栽を行う。</p> <p>○街路樹整備工事～道路の森づくり～ (平成29年度予算額 82,346千円) 福西本通, 向島緯103号線, 向日町上鳥羽線において、中央分離帯に高木の植栽を行う。</p> <p>○ケヤキ並木保全・創造プロジェクト (平成29年度予算額 56,400千円) 平成25年度, 平成27年度に実施した樹勢診断調査結果に基づき、御池通, 釜座通などにおいて、樹勢回復や更新(植替え)を行う。 また、平成29年度から桂坂本通の樹勢診断調査を行う。</p> <p>○桜景観創造プロジェクト (平成29年度予算額 41,800千円) 平成28年度樹勢診断調査結果に基づき、萩原堤等(※)において、サクラの更新(植替え)などを行う。(※東堀川通における「地域住民主体で進める街路樹等の維持管理」を含む。) また、東高瀬川沿いなどにおいて、樹勢診断調査を行う。</p> <p>○市民公募型緑化推進事業 (平成29年度予算額 16,000千円) 平成25年度に行った市民意見公募の結果を基に、緑化整備工事を行う。</p>			
[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]			

平成29年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	宝が池公園森林環境保全再生事業		
予算額	6,000千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担当課	みどり政策推進室（741－8600）		
<p>〔事業実施に至る経過・背景など〕 市内の森林では、シカの食害やナラ枯れが拡大し、植生に深刻な影響が生じており、かつて里山として利用されていた公園内の森林でもその対策が喫緊の課題となっている。 利用者の多い宝が池公園内の森林でも同様の状況が見られることから、森林の持つ機能や魅力を向上させるため、整備・保全・再生を進めていく必要がある。</p> <p>〔事業概要〕</p> <p>1 「豊かな森を育てる府民税交付金」を活用した植生の択伐及び伐採樹木の再利用 宝が池公園内の森林において、産学官民連携により、荒廃した植生の択伐を行い、伐採樹木をリサイクル化する。</p> <p>2 獣害対策及び植栽の推進 喫緊の課題であるシカ害対策（シカ避けネット設置）を行った上で、市内産の地域固有種樹木などを植栽し、新たな森林環境を保全再生する。</p> <p>〔参考（他都市の状況・事業効果など）〕</p>			